



ASSIST

代表 **市川 聖徳**

ASSISTの市川聖徳代表は、不用品回収・遺品整理業界で経験を積んだのち、2025年に独立。「家政夫のアニキ」の名で活動を開始し、不用品回収や遺品整理をはじめ、ハウスクリーニングや草刈りなど、住まいに関する幅広いサービスを手がけている。見積もりから作業完了まで一貫して対応し、迅速かつ丁寧な仕事ぶりで紹介やリピーターも増加。家のことで困った時、「まずは家政夫のアニキに相談しよう」と思ってもらえる存在を目指し、これからも顧客の期待を超えるサービスを届けていく構えだ。

Close Up!

「お家のことで困った時は、ぜひ『家政夫のアニキ』を呼んでください！どんなご相談にも親身に向き合い、対応いたします。皆さんの暮らしを支える、頼れる存在でありたいですね」

対談記事 » 056p

期待を超える仕事で信頼を築く 住まいの頼れる「家政夫のアニキ」

Company Data

ASSIST

〒444-3173

愛知県岡崎市滝町根張沢40-7

<https://assist-aniki.com>

https://www.instagram.com/kaseifu_aniki



代表

市川 聖徳

不用品回収・遺品整理業界で経験を積んだのち、2025年に独立しASSISTを開業。「家政夫のアニキ」の愛称で親しまれながら、不用品回収や遺品整理をはじめ、ハウスクリーニング、草刈りなど幅広いサービスを展開。迅速かつ丁寧な対応を強みに、顧客一人ひとりに寄り添っている。



嶋 まずは、独立までの歩みから教えてくださいませんか？

市川 もともと不用品回収や遺品整理の仕事に携わっており、独立したいという思いはあったものの、なかなか一步を踏み出せずにいました。そんな時、妻が「あなたなら絶対できるから独立してみな」と背中を押してくれまして。気付けば商工会議所への相談まで妻が段取りしてくれていたんです(笑)。その後押しがなければ、今の自分はなかったかもしれませんので、妻には本当に感謝しています。

嶋 すごい行動力ですね！市川代表は、

「家政夫のアニキ」というお名前でも活動されているとうかがいました。そのユニークなスタイルは、どのようにして生まれたのでしょうか？

市川 私は身長が183cmあって体格も大きいので、前職でお客様のご自宅にお邪魔する際、少し威圧感を与えてしまうことがあったんです。そこで、「エプロン姿で親しみやすさを出し、“アニキ”のように頼ってもらえる存在になろう」と考え、家政夫のアニキとして活動を始めました。すると、女性のお客様にも安心していただけるようになり、ご紹介やリピーターも増えていったんです。

嶋 確かに、一度会ったら忘れられない存在ですね(笑)。第一印象とのギャップも安心感につながっていると感じます。

市川 ありがとうございます。実際、最初はお客様から「市川さん」と呼ばれるのですが、帰る頃にはほとんどの方が「アニキ」と呼んでくださるんです。「アニキに頼んでよかった」と言っていただけの瞬間が何より嬉しいですね。

嶋 お客様との信頼関係を大切にされていることがとても伝わってきます。お仕事をするうえで、大切にしていることは何でしょうか？

市川 一番は、お客様の期待を超えることです。「どこに頼んでも同じ」と思われる仕事はしたくありません。見積もりから作業、最後の確認まで私自身が責任を持って対応し、追加のご相談があれば、その場で見積もりをお出しするなど、スピード感も大切にしています。また、不用品回収や遺品整理だけでなく、ハウスクリーニングや草刈りなどにも対応しているんです。作業中に「実はここも困っていて」と相談を受けることも多いので、お客様が困った時、気軽に頼れる存在でありたいと思っています。

嶋 今後の展望はいかがでしょうか？

市川 家政夫のアニキというブランドをもっと広げていきたいです。フランチャイズ展開やオリジナルの掃除用品の開発にも挑戦したいと考えています。他にも、リサイクル事業や就労支援施設との連携などを通じて、地域や社会に貢献できる仕組みもつくっていききたいですね。



Guest Comment

嶋 大輔 (タレント)

奥様と二人三脚でスタートし、お客様の安心を第一に考えながら“期待以上”を届け続ける市川代表。家政夫のアニキという親しみやすいキャラクターも、市川代表だからこそ生まれた唯一無二のブランドだと感じます。これからも多くの方の暮らしを支えながら、温かい思いを全国へ広げていってください！



▲ 遺品整理に伴う不用品回収のビフォーアフター。荷物でいっぱいだった物置も、片付け後はすっきりとした空間に